

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成29年度～平成33年度（5年間）																									
事業実施地区名 （都道府県名）	（るもい） 留萌森林計画区 （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局 るもいなんぶ 留萌南部森林管理署																									
事業の概要・目的	<p>本事業は、北海道の北西部に位置する、留萌市を含む1市3町に所在する国有林約61千haを対象としている。</p> <p>本森林計画区は暑寒別岳を最高峰とし、留萌川、小平薬川、古丹別川等の集水域となっており、山地では、ミズナラ・シナノキ・カンバ類・トドマツ等が混交する天然林と昭和30年代以降に造成されたトドマツを主とする人工林で構成されている。それらの河川の上流部を占める国有林野は、下流域の市町の水源となっており、農地や沿岸環境の保全に配慮する必要から、水源涵養機能及び山地災害防止機能の発揮を重視した管理経営を行うこととしている。</p> <p>なお、本計画区は漁業の盛んな地域であり、特に、にしん漁で繁栄した時期には薪炭材の採取や山火事等によって笹生地等が拡大したことにより森林資源が減少した過去がある。このため、山地災害等の防止機能や生物多様性保全に資する森林を造成する事を目的に、地域住民、漁業協同組合及びNPO等法人と連携した「にしんの森再生プロジェクト」を実施するなど、地域の基幹産業と密接に関係した取り組みにも注力していくこととしている。</p> <p>また、本計画区内には、優れた自然環境・景観を成す森林が多くあり、それらの自然環境保全等に対する要望も高く、原生的で学術的に貴重な森林や野生生物の生息に適した森林、遺伝資源の保存に必要な森林を保護するための管理経営を行い、地域の基幹産業である農業、漁業の繁栄に繋がる適切な森林の管理経営を行うこととする。</p> <p>本事業は、これらの地域の期待や要請に応えるとともに地球温暖化防止にも積極的に寄与するために必要な植栽等の更新作業、間伐等の保育作業及び効率的な森林整備を推進するための路網整備を実施する。</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>主な事業内容</td> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>213</td> <td>ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>保育面積</td> <td>11,473</td> <td>ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>6.6</td> <td>Km</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>改良延長</td> <td>0.7</td> <td>Km</td> </tr> <tr> <td>総事業費</td> <td></td> <td></td> <td>1,337,600</td> <td>千円</td> </tr> </table>			主な事業内容	森林整備	更新面積	213	ha			保育面積	11,473	ha		路網整備	開設延長	6.6	Km			改良延長	0.7	Km	総事業費			1,337,600	千円
主な事業内容	森林整備	更新面積	213	ha																								
		保育面積	11,473	ha																								
	路網整備	開設延長	6.6	Km																								
		改良延長	0.7	Km																								
総事業費			1,337,600	千円																								
費用対効果分析	総 便 益 (B)	18,066,271 千円																										
	総 費 用 (C)	2,019,618 千円																										
	分析結果 (B/C)	8.95																										
森林管理局事業評価 技術検討会の意見	事業の必要性、効率性、有効性が認められることから、本事業を実施することが妥当であると考えます。																											
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 本地域は、大半が水源かん養保安林に指定されており、山地災害防止機能等の発揮が求められている地域であり、更に、地球温暖化防止対策や国土保全、地域の基幹産業である漁業、過去の資源の減少による生物多様性への影響などの観点からも事業の必要性が認められる。 ・効率性： 費用対効果分析の結果から、事業の効率性が認められる。 ・有効性： 本地域は、地域の水源として基幹産業である農業の振興に資する役割のほか、山地災害の防止に対する機能の発揮が求められ、計画的な森林整備により資源の回復が見込まれ、森林の有する機能の発揮が十分に発揮されることから、事業の有効性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に評価したところ、森林の重視すべき機能（特に水源涵養）に応じた適切な森林整備及び路網整備が効率的に計画されていると認められる。</p>																											

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成29年度～平成33年度（5年間）																														
事業実施地区名 （都道府県名）	（くしろねむろ） 釧路根室森林計画区 （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局 根釧西部森林管理署																														
事業の概要・目的	<p>本事業は、北海道の東部に位置する、釧路市を含む1市5町1村に所在する国有林約135千haを対象としている。</p> <p>本森林計画区は釧路湿原の上流域及びラムサール条約登録湿地や別寒辺牛湿原を含むパイロットフォレスト等がある釧路地区や、阿寒富士を源とし太平洋へ注ぐ庶路川・茶路川流域に面する白糠地区、阿寒湖、雌阿寒岳等阿寒国立公園の中心部及び阿寒川流域に面する阿寒地区、阿寒山系から屈斜路外輪山とおり摩周岳にかけての山岳林及び釧路川上流部に面する弟子屈地区で構成されている。これらの主要河川の上流部を占める国有林は、特徴ある多種、多様な森林を構成し、原生的な森林や、昭和30年以降造成されたトドマツやカラマツ等の人工林により形成されている。これらの上流域に位置する国有林野は、河川へ流れる水資源の供給元であり、生活用水をはじめ、畑作酪農の農業用水など多種多様に利用されている事から、水源涵養機能及び山地災害防止機能の発揮を重視した管理経営を行うこととしている。</p> <p>また、阿寒湖、摩周湖、屈斜路湖周辺は原生的な森林生態系を有する阿寒国立公園や別寒辺牛湿原等を主要部とする厚岸道立自然公園は地域の基幹産業である観光にも大きく寄与しているところであり、森林生態系や風致・景観の維持・保存、保健文化機能等発揮に適した管理経営を行い、地域の基幹産業である農業や酪農、漁業等の繁栄に繋がる適切な森林の管理経営を行うこととする。</p> <p>本事業は、これらの地域の期待や要請に応えるとともに地球温暖化防止にも積極的に寄与するために必要な植栽等の更新作業、間伐等の保育作業及び効率的な森林整備を推進するための路網整備を実施する。</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">主な事業内容</td> <td style="width: 10%;">森林整備</td> <td style="width: 10%;">更新面積</td> <td style="width: 10%;">1,799</td> <td style="width: 10%;">ha</td> <td style="width: 10%;"></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>保育面積</td> <td>29,013</td> <td>ha</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>19.8</td> <td>Km</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>改良延長</td> <td>0.2</td> <td>Km</td> <td></td> </tr> <tr> <td>総事業費</td> <td></td> <td></td> <td>5,282,321</td> <td></td> <td>千円</td> </tr> </table>			主な事業内容	森林整備	更新面積	1,799	ha				保育面積	29,013	ha			路網整備	開設延長	19.8	Km				改良延長	0.2	Km		総事業費			5,282,321		千円
主な事業内容	森林整備	更新面積	1,799	ha																													
		保育面積	29,013	ha																													
	路網整備	開設延長	19.8	Km																													
		改良延長	0.2	Km																													
総事業費			5,282,321		千円																												
費用対効果分析	総便益（B）	46,495,047	千円																														
	総費用（C）	7,399,888	千円																														
	分析結果（B/C）	6.28																															
森林管理局事業評価技術検討会の意見	事業の必要性、効率性、有効性が認められることから、本事業を実施することが妥当であると考えている。																																
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 本地域は、大半が水源かん養保安林に指定されており、地域の観光資源でもある特殊な景観の保全、山地災害防止機能等の発揮が求められている地域であり、地域の基幹産業である農業や酪農、漁業、更には、地球温暖化防止対策や国土保全の観点からも事業の必要性が認められる。 ・効率性： 費用対効果分析の結果から、事業の効率性が認められる。 ・有効性： 本地域は、地域の水源として基幹産業である観光や農業、酪農、漁業への振興に資する役割のほか、山地災害防止に対する機能の発揮が求められており、計画的な森林整備により、森林の有する機能の発揮が十分図られることから、事業の有効性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に評価したところ、森林の重視すべき機能（特に水源涵養）に応じた適切な森林整備及び路網整備が効率的に計画されていると認められる。</p>																																

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成29年度～平成33年度（5年間）																				
事業実施地区名 （都道府県名）	（くしろねむろ） 釧路根室森林計画区 （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局 こんせんとうぶ 根釧東部森林管理署																				
事業の概要・目的	<p>本事業は、北海道の東部に位置する根室市を含む1市4町に所在する国有林約54千haを対象としている。</p> <p>本森林計画区は、知床世界自然遺産や国立公園、道立公園、ラムサール条約登録湿地など、多くの貴重な森林資源や景観等優れた環境を有している一方、自然環境は夏季の低温、冬期の季節風などの影響により、森林の生育環境としては厳しい地域である。</p> <p>なお、本計画区内を流れる主な河川は、さけ・ます漁業資源管理河川に設定されており、国有林はその上流域から中流域に位置し、水道水だけではなく、基幹産業である漁業の振興の面からも良質な水質の供給など、水源涵養機能への期待からも国有林の役割が重要視されている地域である。</p> <p>また、北海道遺産に認定されているカラマツ等の人工林で構成されている「格子状防風林」は、農業・畜産業・住環境の保全にも寄与しており、水源涵養機能及び国土保全（防風）機能を重視した、地域の基幹産業に配慮した適切な森林の管理経営を行うこととする。</p> <p>本事業は、これらの地域の期待や要請に応えるとともに地球温暖化防止にも積極的に寄与するために必要な植栽等の更新作業、間伐等の保育作業及び効率的な森林整備を推進するための路網整備を実施する。</p> <p>主な事業内容</p> <table border="1"> <tr> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>972</td> <td>ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td>保育面積</td> <td>14,615</td> <td>ha</td> </tr> <tr> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>8.1</td> <td>Km</td> </tr> <tr> <td></td> <td>改良延長</td> <td>0.1</td> <td>Km</td> </tr> <tr> <td>総事業費</td> <td></td> <td>1,849,020</td> <td>千円</td> </tr> </table>			森林整備	更新面積	972	ha		保育面積	14,615	ha	路網整備	開設延長	8.1	Km		改良延長	0.1	Km	総事業費		1,849,020	千円
森林整備	更新面積	972	ha																				
	保育面積	14,615	ha																				
路網整備	開設延長	8.1	Km																				
	改良延長	0.1	Km																				
総事業費		1,849,020	千円																				
費用対効果分析	総便益（B）	19,060,779	千円																				
	総費用（C）	2,468,508	千円																				
	分析結果（B/C）	7.72																					
森林管理局事業評価技術検討会の意見	事業の必要性、効率性、有効性が認められることから、本事業を実施することが妥当であるとする。																						
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 本地域は、大半が水源かん養保安林に指定されており、格子状防風林など地域の基幹産業となる農業や酪農への寄与からも山地災害防止機能等の発揮が求められている地域であり、更に、地球温暖化防止対策や国土保全の観点からも事業の必要性が認められる。 ・効率性： 費用対効果分析の結果から、事業の効率性が認められる。 ・有効性： 本地域は、地域の水源として基幹産業である農業や酪農等住環境への振興に資する役割のほか、山地災害の防止に対する機能の発揮が求められており、計画的な森林整備により、森林の有する機能の発揮が十分図られることから、事業の有効性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に評価したところ、森林の重視すべき機能（特に水源涵養）に応じた適切な森林整備及び路網整備が効率的に計画されていると認められる。</p>																						